

# 青少年のきずな

編集・発行 久留米市子ども未来部 青少年育成課(久留米市野中町1074-1) TEL(0942)35-3806 FAX(0942)34-9001

(お知らせ)若者相談「みらくる」(中学卒業後～39歳の総合相談窓口)専用フリーダイヤル0120-369656 FAX(0942)34-9001

## 久留米の子どもたち、若者たちのために～心をあわせて青少年の育成支援～

あけましておめでとうございます。

久留米の子どもたち、若者たちがコロナ禍を乗り越えて大きく飛躍することを願うメッセージをいただきました。



皆さま、明けましておめでとうございます。2023年の年頭に当たり、日頃より青少年の健全育成事業に、ご理解ご協力を賜り、感謝とお礼を申し上げます。今年が皆さまにとって明るい年となりますようにお祈り申し上げます。

コロナ禍の見えない感染リスクと向き合いながら3年が経過します。令和4年を振り返ると、常にコロナ感染の状況を見ながらではありましたが、私たちの生活も少しずつ元に戻り、止まっていた活動も少しずつ再開できました。

6月は、中学生・高校生による「青少年弁論大会」を3年ぶりに開催することができ、7月は、各校区の青少年健全育成活動の功労者を表彰する「青少年健全育成市民大会」を開催できました。

8月は、久留米市、小都市、うきは市、大刀洗町の3市1町の市民会議・町民会議で構成する福岡県会議の筑後北地区協議会研修大会を5年ぶりに久留米市が担当し、10月は、校区青少協の活動交流会を、2年連続の紙上発表を経て、ようやく一堂に会して開催できました。

11月に開催した「子ども文化祭」和太鼓発表会は、昨年を大きく上回る14団体、169名の小中学生が出演してくれ、コロナ以前の水準に戻ったようでした。今回は是非、和太鼓共演会という以前のスタイルに戻したいと考えています。

本年度の残された事業は、2月19日(日)に開催します「少年健全育成駅伝大会」です。選手選考や練習計画など、校区の関係者やお世話されている方々には感謝申し上げます。2年間でできなかった駅伝大会で子どもたちの寒さに負けない元気いっぱい姿が見られることを祈るばかりです。

まだまだコロナ収束は見えませんが、子どもたちの成長は待ってくれません。コロナで何もできないと思わずに、今私たちにできることを皆さまと精一杯やっつけていきたいと思っています。

青少年育成市民会議を構成する関係団体や協力団体の皆様方には、これまでたくさんのご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。

コロナ禍で各団体の運営も難しい状況の中で大変とは思いますが、久留米の子どもたちの成長のため、これからも地域全体で育む環境づくりやご支援をいただければ幸いです。

最後に、青少年が健全に成長することは、全市民そして私たち市民会議・青少協の願いでもあります。

本年も久留米市全校区の関係団体並びに地域の皆様方と心をつなぐに合わせ、青少年の健全育成に取り組んでいきたいと思っています。今年もどうぞよろしく願いいたします。

久留米市青少年育成市民会議  
久留米市校区青少年育成協議会連絡会議  
会長 中井久

# 親子で楽しく学ぶ ～3年ぶりに「マナビィランド」参加～

11月13日(日)にえーるピア久留米で「マナビィランド」が開催されました。

青少年育成課の参加は3年ぶりで、青少年の立ち直り支援施設「みらくるホーム」と一緒に、薬物乱用防止などのパネル展示やインターネットの適正利用に関する啓発DVDの上映などを行いました。また、小さいお子さんも楽しめるようなゲームコーナーも設けました。



▲「魚つり」ゲーム

この日は、時折雨が降る中、250人ほどの親子が訪れ、ゲームを楽しみながら、興味深くパネル展示を見たり、真剣にDVD上映を視聴したりする姿が見られました。

参加された保護者には「みらくるホーム」や若者相談窓口「みらくる」を紹介する名刺サイズのカードをお渡しし、子どもたちにはポップコーンや記念グッズを配りました。

これからも、様々な工夫をこらしながら啓発広報活動に取り組んでまいります。



▲パネル展示



▲DVD上映



▲ポップコーン

## 若者相談窓口「みらくる」～中学卒業後から30代までの総合相談窓口～

久留米市では、今年度から、若者のための相談窓口「みらくる」を青少年育成センター(野中町)に開設しています。

専門の相談員が、様々な悩みや困りごとをしっかりと受け止め、関係機関などと連携協力し、若者本人の思いを大事にしなが、一緒に考えていきます。

- 対象** 市内の中学卒業～39歳の人
- 相談方法** 電話、FAX、メール、来所(要予約)など。  
相談員がご自宅などに訪問することもできます。
- 【電話】** フリーダイヤル 0120-369656
- 【FAX】** (0942)34-9001
- 【Eメール】** wakamono@city.kurume.lg.jp

## 「らるご久留米」の体験活動

「らるご久留米」では、不登校状態にある子どもたちの心のエネルギーの回復と社会的自立への力を身につけるために、体験活動を取り入れています。

今年度は、感染症対策として制限はありながらも、多くの活動を実施できています。

### 海釣り

10月3日(月)に、福岡市海釣り公園へ魚釣り体験に行きました。

例年より少し出発を早め、午前中の中に2時間ほど班で釣りを楽しみました。今年は、例年になく大漁かつ大物がかかり、後日、「家族で美味しく食べました」という感想を話してくれる通級生もいました。



### 稲刈り

10月5日(水)には、農政課とくめ認定農業者協議会にご協力いただき、稲刈り体験をさせていただきました。

参加してきた通級生達は意欲的に取り組み、終わった後は「疲れたけど楽しかった」と笑顔で話していました。



### バスハイク

11月28日(月)のバスハイク(グリーンランド)は、出発時間がいつもより少し早かったのですが、当日の欠席もなく参加者全員アトラクションを楽しむことができました。

園内では、班行動を行うことで、普段あまり話したことがない子どもも話している様子が見られ、通級生同士交流も深めることができました。



## らるごフェスタ



11月12日(土)には、らるごフェスタを実施しました。今年度も参加者を制限する形となりましたが、通級生達は準備の段階から意欲的に取り組み、当日も朗読紙芝居(石橋正二郎物語)やお茶のお点前、フリーマーケットの売り子を頑張りました。

行事を通し、事前学習のフィールドワークやフリマ商品への値付け、展示作品作りに、お茶のお点前練習と大変ではありましたが、その分充実した様子でした。来場された方に褒めていただいたり、感謝されたりすることを通し、やってよかったという達成感を感じている子どもいました。

今年度は親の会とも話し、コロナ禍でなかなかお祭りを経験できなかった子ども達に、緑日気分を味わってもらいたいとゲームコーナーを運営していただきました。

当日は大盛況となり、通級生も時間を割り当て一緒に遊びました。保護者の方からも「久しぶりに子ども達のこんな笑顔を見ました」と一緒に楽しむことができました。



行事や体験活動を通して、少しずつではありますが通級する日が増えている子どもいます。

改めて、皆様に支えられていることに感謝したいと思います。ありがとうございました。引き続き、「らるご久留米」へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 問合せ先「らるご久留米」

(電話) 0942-35-3869  
(FAX) 0942-34-9001

# インターネット非行・被害～防止&トラブル相談～

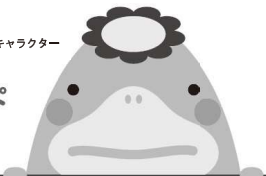
## ネット講話

久留米市では、インターネットを利用した非行・被害防止のため、保護者向けの講話を行っています。

お気軽にお問い合わせください。

久留米市イメージキャラクター

くるっぱ



『ネット講話』は少人数でも開催できるっぱ!!  
ご連絡お待ちしてるっぱ♪

## ネット講話の申込は青少年育成課まで

(電話) 0942-35-3806

(FAX) 0942-34-9001

(Eメール) syounen@city.kurume.lg.jp

## 「ネットトラブル相談窓口」

福岡県では、児童生徒がインターネットやスマホ利用のトラブルで困っていることや不安に思っていることを匿名で相談できるように「福岡県児童生徒のためのネットトラブル相談窓口」を開設しています。

県内の小学生、中学生、高校生が対象ですが、保護者や教員の方からの相談にも対応します。

相談は無料で、ネット問題に詳しい専門の相談員が親身に対応します。

### ◆電話(フリーダイヤル)による相談

(TEL) 0120-494-100

【受付】月～金曜の午後6時～9時

※祝日、12/29～1/3を除く。

### ◆LINE、メールによる相談

(LINE) 下記のQRコードから友達追加



(メール) fukuoka@netsoudan.net

【受付】月～金曜、日曜の午後6時～9時

(メールの送信は24時間可能)

※祝日、12/29～1/3を除く。



## 「ヤングケアラー」のこと一緒に考えます。



家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラーは、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響を受けることもあります。

あなたの周りに  
「ヤングケアラーかも」と  
思われる子はいませんか？

その子は、自分が行いたいことを、  
制限されていませんか？

その子のための支援を、  
こども育てサポートセンターが  
一緒に考えます。

## ヤングケアラー相談・支援窓口

場 所：子ども未来部 こども育てサポートセンター (久留米市役所 16 階)

電 話：0942-30-9302 FAX：0942-30-9718

メー ル：kokosapo@city.kurume.lg.jp

対応日時：平日(祝祭日、年始年末を除く)

8時30分～17時15分(木曜日は19時まで)

☆18歳未満のお子さんの相談先(結(ゆい)らいん)

電 話：0120-870-552 メー ル：youline@city.kurume.lg.jp